

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2014. 7~9月期 第11回

【特別調査—中小企業における『成長戦略』への期待について】

津山信用金庫は、作州地域内237企業の経営者のご協力のもと、ここに第11回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況：7月～9月の業況は曇り、10月～12月の見通しは晴れ時々曇り■

【地域別天気図】	2013年 7月～9月	2013年 10月～12月	2014年 1月～3月	2014年 4月～6月	今期実績 7月～9月	来期見通し 10月～12月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2014年7月～9月)の業況判断DIは、消費増税前の駆け込み需要の反動を受けた前期に比べ若干持ち直しを見せ前期比6.1ポイントと上昇し、プラス2.6となった。来期(2014年10月～12月)はプラス27.4と業況感が大幅に回復する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比0.3ポイント上昇しマイナス1.4、真庭地域は前期比11.5ポイント上昇しプラス4.2、美作勝央地域は前期比19.6ポイント上昇しプラス13.9となった。来期は、津山鏡野地域プラス24.0、真庭地域プラス31.2、美作勝央地域プラス34.8と業況感が大幅に回復する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	▲3.5	28.3	46.0	25.7	2.6	38.8	49.8	11.4	27.4
津山鏡野地域	▲1.7	26.0	46.6	27.4	▲1.4	36.3	51.4	12.3	24.0
真庭地域	▲7.3	27.1	50.0	22.9	4.2	37.5	56.3	6.3	31.2
美作勝央地域	▲5.7	37.2	39.5	23.3	13.9	48.8	37.2	14.0	34.8

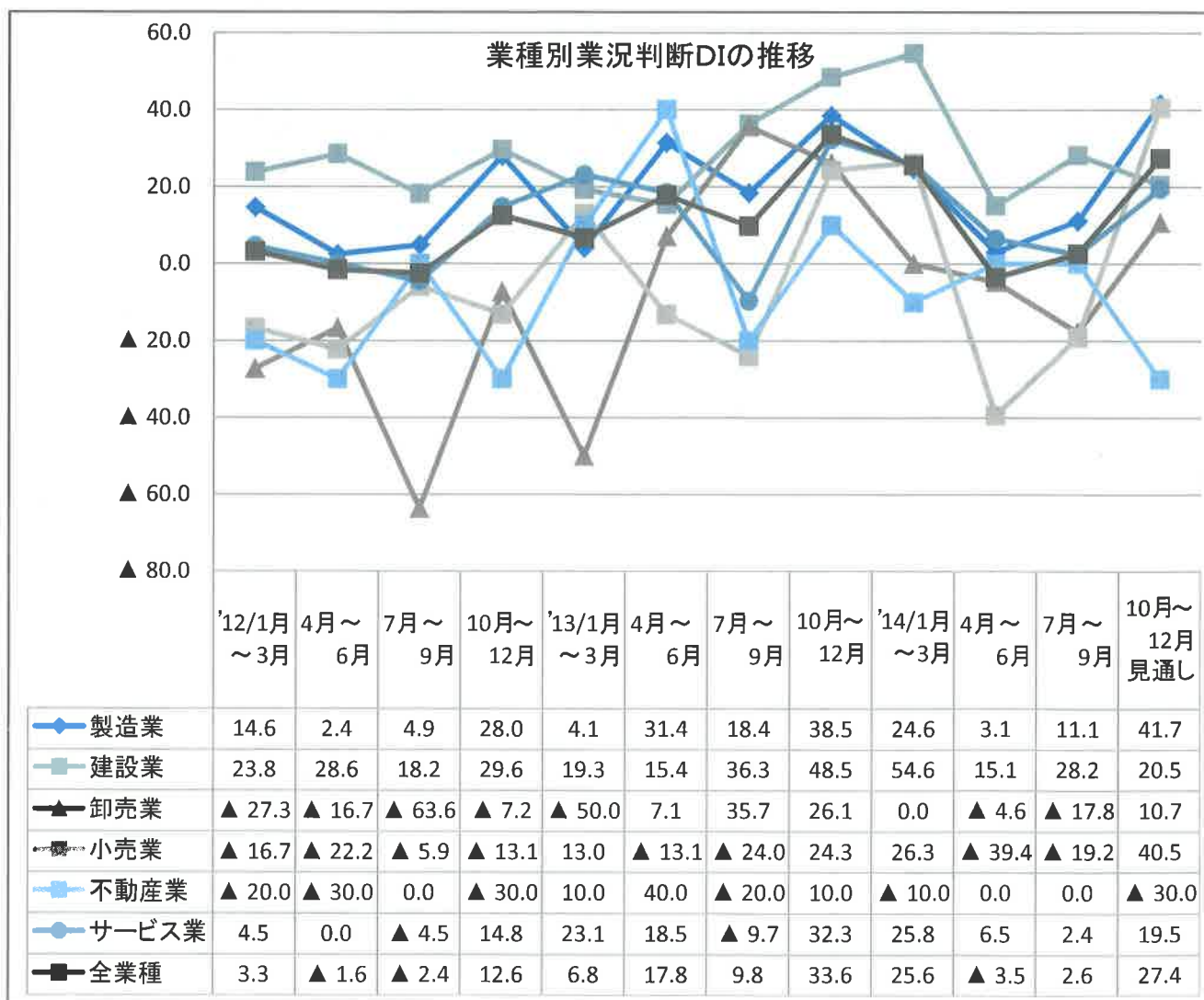
※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上～ 30未満	0以上～ 10未満	▲10以上 ～ 0未満	▲30以上 ～ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2013年 7月～9月	2013年 10月～12月	2014年 1月～3月	2014年 4月～6月	今期実績 7月～9月	来期見通し 10月～12月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	▲ 3.5	28.3	46.0	25.7	2.6	38.8	49.8	11.4	27.4
売上	▲ 17.1	33.3	39.7	27.0	6.3	44.3	40.1	15.6	28.7
収益	▲ 26.8	28.7	44.3	27.0	1.7	39.7	43.5	16.9	22.8

- 業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)はプラス2.6となり、前期比6.1ポイント上昇した。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス27.4となっている。
- 売上DIは、今期はプラス6.3となり、前期比23.4ポイント上昇した。来期見通しはプラス28.7となっている。
- 収益DIは、今期はプラス1.7となり、前期比28.5ポイント上昇した。来期見通しはプラス22.8となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI
資金繰り	4.5	13.9	74.7	11.4	2.5	11.4	83.5	5.1	6.3
雇用(人手過不足)	▲ 19.2	5.1	57.8	37.1	▲ 32.0	2.5	59.9	37.6	▲ 35.1
設備投資	▲ 8.5	4.0	77.9	18.1	▲ 14.1	2.7	80.1	17.3	▲ 14.6

- 資金繰り判断DIは、今期(2014年7月～9月)はプラス2.5となり、前期比2.0ポイント下降した。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス6.3となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス32.0となり、前期比12.8ポイント下降した。来期見通しはマイナス35.1となっている。今期「やや不足」「不足」と回答のあった企業が4割弱となっている。
- 設備投資DIは、今期はマイナス14.1となり、前期比5.6ポイント下降した。来期見通しもマイナス14.6となっている。今期「適正」と回答のあった企業が8割弱となっている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	3.1	34.7	41.7	23.6	11.1	50.0	41.7	8.3	41.7
売上	▲ 21.9	33.3	33.3	33.3	0.0	51.4	31.9	16.7	34.7
収益	▲ 29.7	23.6	43.1	33.3	▲ 9.7	43.1	38.9	18.1	25.0

- 製造業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比8.0ポイント上昇し、プラス11.1となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス41.7となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス34.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス9.7、来期見通しはプラス25.0となっている。
- 製造業の内、下表の製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業)を除くその他製造業の業況判断DIは、今期はプラス15.6、来期見通しはプラス43.7となっている。
- 作州地域においても産学連携が製造業を中心に進んでおり、大学等と連携して製品開発や新規事業に取り組んでいる企業が複数あった。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	16.7	57.1	28.6	14.3	42.8	50.0	42.9	7.1	42.9
売上	▲ 33.3	42.9	28.6	28.6	14.3	50.0	35.7	14.3	35.7
収益	▲ 50.0	35.7	42.9	21.4	14.3	42.9	50.0	7.1	35.8

- 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比26.1ポイント上昇し、プラス42.8となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス42.9となっている。「良い」「やや良い」と回答した企業が半数を超えている。
- 売上判断DIは、今期はプラス14.3、来期見通しはプラス35.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス14.3、来期見通しはプラス35.8となっている。
- 医療用や食品用のステンレス加工の受注は堅調に推移しているとの声が複数あった。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 35.7	21.4	50.0	28.6	▲ 7.2	42.9	42.9	14.3	28.6
売上	▲ 35.7	28.6	50.0	21.4	7.2	42.9	42.9	14.3	28.6
収益	▲ 42.9	14.3	57.1	28.6	▲ 14.3	28.6	50.0	21.4	7.2

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比28.5ポイント上昇しマイナス7.2となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス28.6となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス7.2、来期見通しはプラス28.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス14.3、来期見通しはプラス7.2となっている。
- 今夏の天候不順に加え、大雨災害に見舞われた地方からの原木を求める動きもあり、原木価格が上昇しているとの声があった。

製造業のうち： 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	36.4	25.0	33.3	41.7	▲ 16.7	58.3	33.3	8.3	50.0
売上	9.1	25.0	16.7	58.3	▲ 33.3	50.0	41.7	8.3	41.7
収益	0.0	16.7	41.7	41.7	▲ 25.0	41.7	50.0	8.3	33.4

- 農林業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)はマイナス16.7ポイントとなった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス50.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス33.3、来期見通しはプラス41.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス25.0、来期見通しはプラス33.4となっている。
- 天候不順により農作物が育たない、作業日数が減ったなどの声が多く聞かれた。

■ 建設業 ■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	15.1	48.7	30.8	20.5	28.2	30.8	59.0	10.3	20.5
売上	▲ 21.2	35.9	48.7	15.4	20.5	35.9	51.3	12.8	23.1
収益	▲ 15.2	41.0	38.5	20.5	20.5	33.3	46.2	20.5	12.8

- 建設業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比13.1ポイント上昇しプラス28.2となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス20.5となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス20.5、来期見通しはプラス23.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス20.5、来期見通しはプラス12.8となっている。
- 住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期はプラス5.0となった。来期見通しはプラス5.0となっている。
- 病院や工場などの民間工事が増加しているとの声が複数あった。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	40.0	63.2	26.3	10.5	52.7	42.1	52.6	5.3	36.8
売上	6.7	42.1	47.4	10.5	31.6	42.1	47.4	10.5	31.6
収益	13.3	57.9	26.3	15.8	42.1	36.8	42.1	21.1	15.7

●住宅建設業者の業況判断D Iは、今期(2014年7月～9月)は前期比12.7ポイント上昇しプラス52.7となった。来期(2014年10月～12月)の見通しはプラス36.8となっている。

●売上判断D Iは、今期はプラス31.6、来期見通しはプラス31.6となっている。

●収益判断D Iは、今期はプラス42.1、来期見通しはプラス15.7となっている。

●県南の業者から県南での住宅建設物件の紹介が増えているとの声があった。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 4.6	14.3	53.6	32.1	▲ 17.8	25.0	60.7	14.3	10.7
売上	▲ 9.1	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	57.1	17.9	7.1
収益	▲ 27.3	10.7	64.3	25.0	▲ 14.3	21.4	64.3	14.3	7.1

●卸売業の業況判断D Iは、今期(2014年7月～9月)は前期比13.2ポイント下降しマイナス17.8となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス10.7となっている。

●売上判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しはプラス7.1となっている。

●収益判断D Iは、今期はマイナス14.3、来期見通しはプラス7.1となっている。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 39.4	19.1	42.6	38.3	▲ 19.2	51.1	38.3	10.6	40.5
売上	▲ 36.8	34.0	27.7	38.3	▲ 4.3	63.8	23.4	12.8	51.0
収益	▲ 57.9	31.9	34.0	34.0	▲ 2.1	59.6	29.8	10.6	49.0

●小売業の業況判断D Iは、今期(2014年7月～9月)は前期比20.2ポイント上昇しマイナス19.2となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス40.5となっている。

●売上判断D Iは、今期はマイナス4.3、来期見通しはプラス51.0となっている。

●収益判断D Iは、今期はマイナス2.1、来期見通しはプラス49.0となっている。

●自動車小売業を除く小売業の業況判断D Iは、今期マイナス12.2、来期見通しはプラス51.5となっている。

●来期においては、年末の売上を期待する企業が多くあった。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 63.6	7.1	50.0	42.9	▲ 35.8	35.7	42.9	21.4	14.3
売上	▲ 72.7	21.4	42.9	35.7	▲ 14.3	57.1	35.7	7.1	50.0
収益	▲ 90.9	14.3	50.0	35.7	▲ 21.4	50.0	42.9	7.1	42.9

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比27.8ポイント上昇しマイナス35.8となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス14.3となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス14.3、来期見通しはプラス50.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス21.4、来期見通しはプラス42.9となっている。
- 大手企業に就職を希望する整備士が多くなり、中小企業では若い整備士の確保が困難になってきているとの声が多数あった。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	10.0	50.0	40.0	▲ 30.0
売上	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
収益	10.0	30.0	40.0	30.0	0.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期と変わらずゼロとなった。来期(2014年10月～12月)見通しはマイナス30.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはマイナス20.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはマイナス20.0となっている。
- 中古物件へのニーズが高まりを見せているとの声が聞かれた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	6.5	19.5	63.4	17.1	2.4	29.3	61.0	9.8	19.5
売上	9.7	36.6	48.8	14.6	22.0	36.6	51.2	12.2	24.4
収益	▲ 6.4	34.1	51.2	14.6	19.5	34.1	51.2	14.6	19.5

- サービス業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比4.1ポイント下降しプラス2.4となった。来期(2014年10月～12月)見通しは19.5となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス22.0、来期見通しはプラス24.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス19.5、来期見通しもプラス19.5となっている。
- 運送業では、公定幅運賃制度の施行(本年1月)により運賃の上限・下限が設定されたことを歓迎する声があった。

サービス業のうち 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	16.6	13.3	80.0	6.7	6.6	26.7	66.7	6.7	20.0
売上	33.3	20.0	73.3	6.7	13.3	26.7	53.3	20.0	6.7
収益	0.0	26.7	60.0	13.3	13.4	26.7	46.7	26.7	0.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2014年7月～9月)は前期比10.0ポイント下降しプラス6.6となった。来期(2014年10月～12月)見通しはプラス20.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス13.3、来期見通しはプラス6.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス13.4、来期見通しはゼロとなっている。
- 医療機能や病床機能を報告する「病床機能報告制度」(本年10月開始)による規制強化を不安に感じる声があった。
- 介護療養型病床の一部を介護老人保健施設へ転換する動き(転換型老健)が見られた。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	43.1	27.8	29.2	13.9
建設業	41.0	33.3	25.6	15.4
卸売業	17.9	50.0	32.1	▲ 14.2
小売業	34.0	25.5	40.4	▲ 6.4
不動産業	50.0	20.0	30.0	20.0
サービス業	34.1	53.7	12.2	21.9
総計	36.7	35.0	28.3	8.4

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	27.8	36.1	36.1	▲ 8.3
建設業	35.9	38.5	25.6	10.3
卸売業	17.9	46.4	35.7	▲ 17.8
小売業	29.8	36.2	34.0	▲ 4.2
不動産業	40.0	30.0	30.0	10.0
サービス業	26.8	53.7	19.5	7.3
総計	28.7	40.5	30.8	▲ 2.1

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	25.0	75.0	0.0	25.0
小売業	34.0	57.4	8.5	25.5
総計	30.7	64.0	5.3	25.4

- ① 昨年同期(2013年7月～9月)比較売上高DIは、卸売業と小売業はマイナスとなったものの、全業種ではプラス8.4となった。
 ② 昨年同期比較収益DIは、プラスとマイナスの業種が半々となり、全業種でマイナス2.1となった。
 ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス25.0、小売業プラス25.5となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	1.6	5.6	79.2	15.3	▲ 9.7	9.7	86.1	4.2	5.5
建設業	12.1	25.6	66.7	7.7	17.9	12.8	79.5	7.7	5.1
卸売業	22.7	10.7	89.3	0.0	10.7	7.1	82.1	10.7	▲ 3.6
小売業	26.3	23.4	66.0	10.6	12.8	12.8	76.6	10.6	2.2
不動産業	▲ 30.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0
サービス業	29.0	14.6	85.4	0.0	14.6	9.8	85.4	4.9	4.9
総計	13.1	14.3	75.9	9.7	4.6	10.1	82.7	7.2	2.9

● 販売価格DIは、製造業と不動産業でマイナスとなり、今期は、全業種でプラス4.6となった。来期見通しは、卸売業と不動産業でマイナスとなり、全業種で2.9となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	31.3	45.8	48.6	5.6	40.2	23.6	75.0	1.4	22.2
建設業	54.5	56.4	43.6	0.0	56.4	30.8	69.2	0.0	30.8
卸売業	36.4	28.6	71.4	0.0	28.6	17.9	75.0	7.1	10.8
小売業	39.5	25.5	61.7	12.8	12.7	21.3	72.3	6.4	14.9
不動産業	▲ 20.0	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	10.0	80.0	10.0	0.0
サービス業	48.4	29.3	70.7	0.0	29.3	17.1	78.0	4.9	12.2
総計	37.3	36.7	58.2	5.1	31.6	21.9	74.3	3.8	18.1

● 仕入価格DIは、不動産業を除くすべての業種でプラスとなり、今期は前期に引き続き仕入価格上昇の回答が多く、全業種でプラス31.6となった。来期見通しは全業種で18.1となっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正	不足傾向
製造業	6.4	7.0	80.3	12.7	▲ 5.7	1.4	93.0	5.6	▲ 4.2
建設業	9.1	5.1	89.7	5.1	0.0	0.0	97.4	2.6	▲ 2.6
卸売業	▲ 4.6	3.6	92.9	3.6	0.0	0.0	96.4	3.6	▲ 3.6
小売業	15.8	19.1	68.1	10.6	8.5	10.6	80.9	8.5	2.1
不動産業	▲ 10.0	10.0	80.0	10.0	0.0	20.0	70.0	10.0	10.0
総計	6.7	9.2	81.0	9.2	0.0	4.1	90.3	5.6	▲ 1.5

●在庫DIは、今期は、全業種で約8割が適正と回答し、全業種でゼロとなった。来期見通しは、全業種で約9割が適正と回答している。

■受注残■

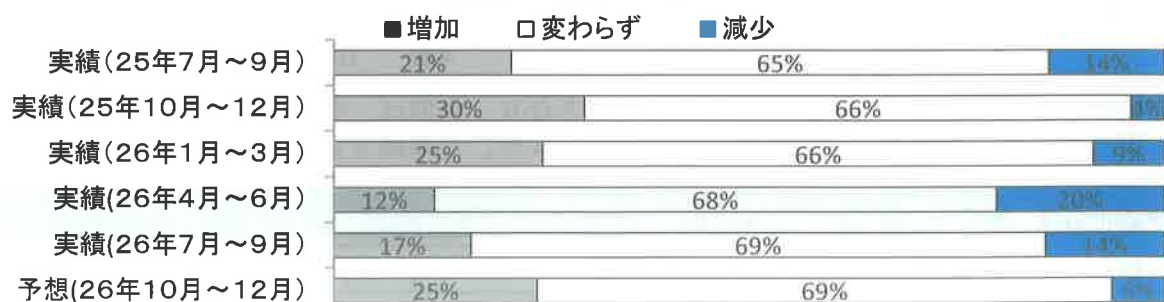
受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少
製造業	▲ 9.4	31.9	45.8	22.2	9.7	37.5	48.6	13.9	23.6
建設業	▲ 21.2	41.0	43.6	15.4	25.6	33.3	48.7	17.9	15.4
総計	▲ 13.4	35.1	45.0	19.8	15.3	36.0	48.6	15.3	20.7

●製造業の受注残DIは、今期は前期比19.1ポイント上昇しプラス9.7となり、来期見通しはプラス23.6となっている。

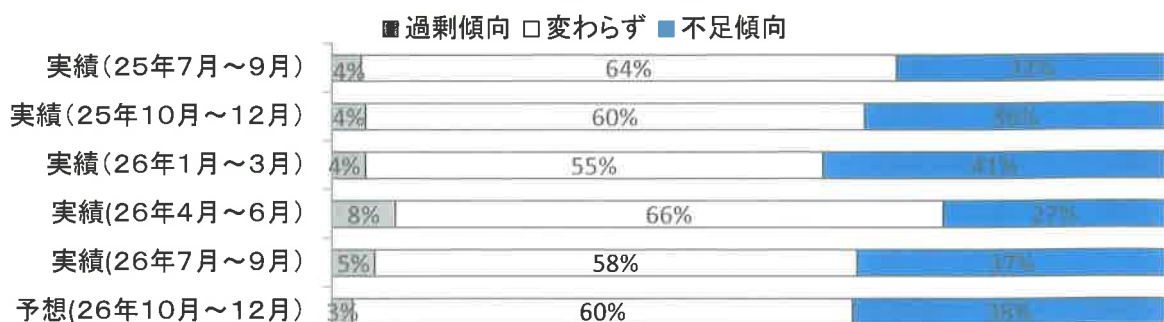
●建設業の受注残DIは、今期は前期比46.8ポイント上昇しプラス25.6となり、来期見通しはプラス15.4となっている。

■雇用面の動き■

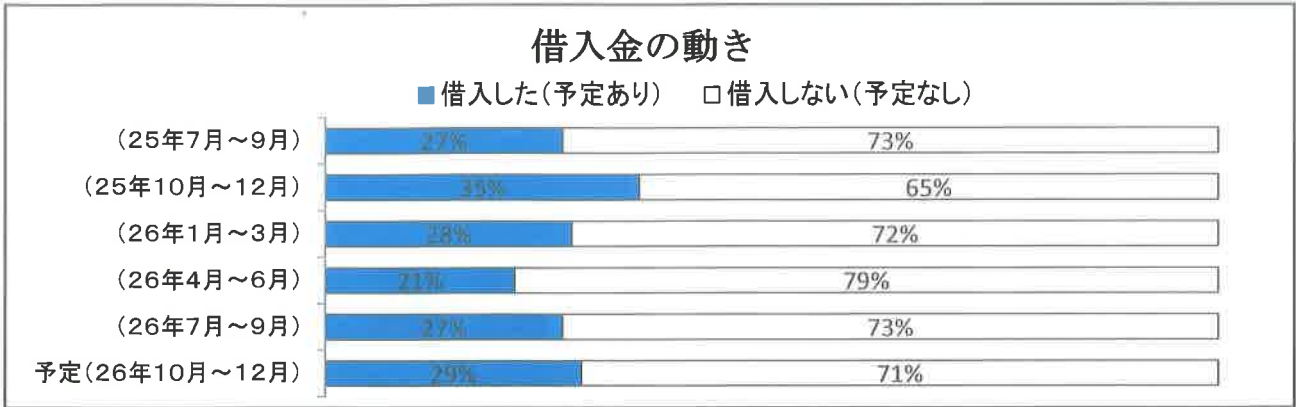
前期比残業時間



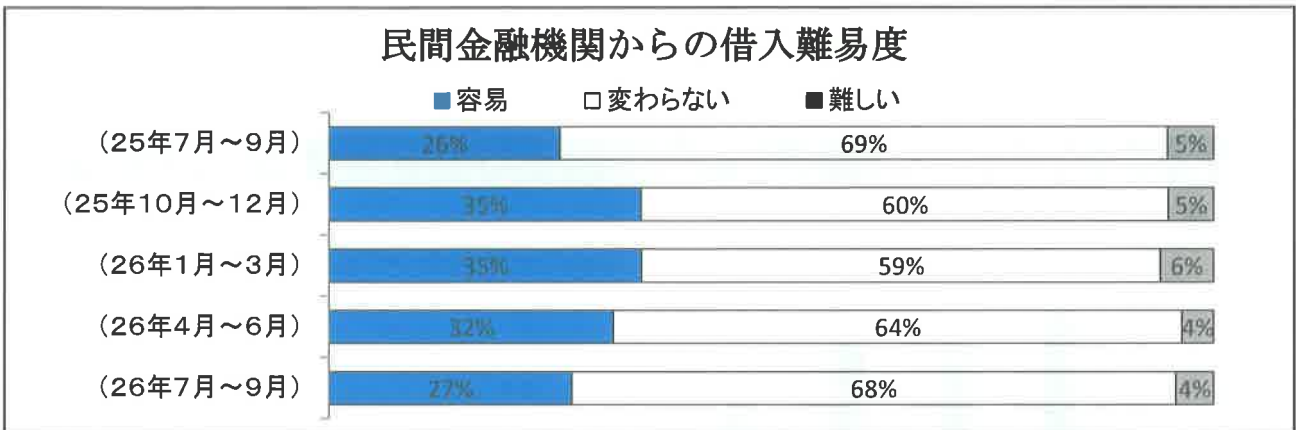
人手実績と予想



借入金の動き・難易度



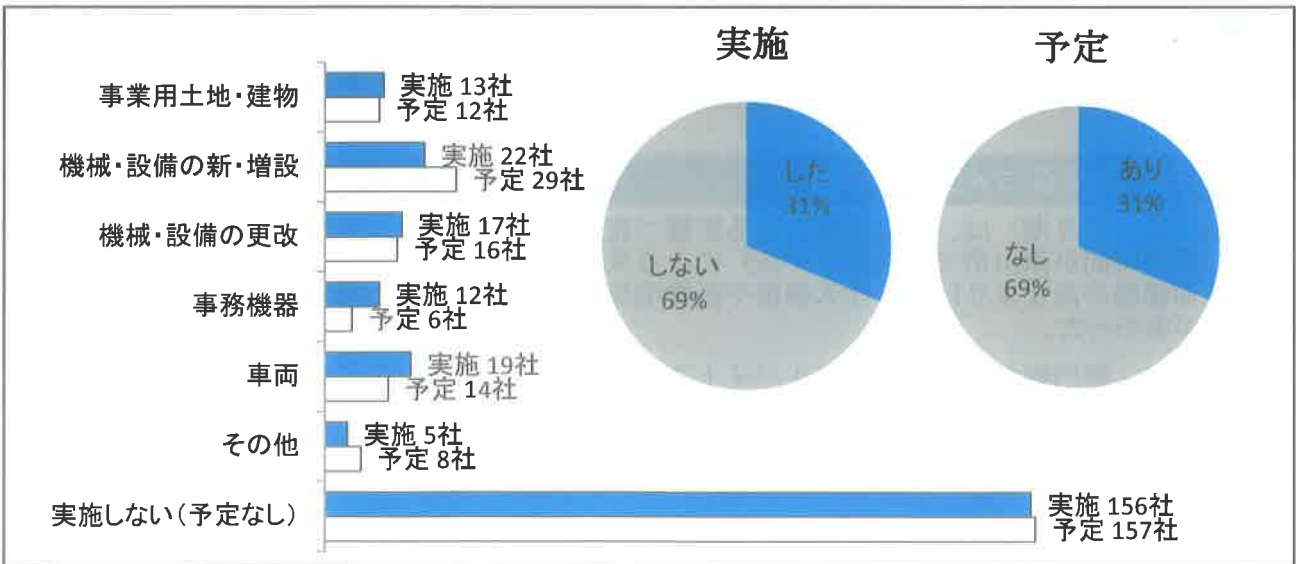
● 借入を実施(26年7月～9月)した企業の割合は、昨年同期と同じ27%となった。借入の予定(26年10月～12月)をしている企業の割合は、昨年同期実績に比べ6ポイント減少し29%となっている。



● 借入の難易度(26年7月～9月)は、『容易』と回答した企業の割合が昨年同期比1ポイント増加し、『難しい』と回答した企業の割合は昨年同期比1ポイント減少となっている。

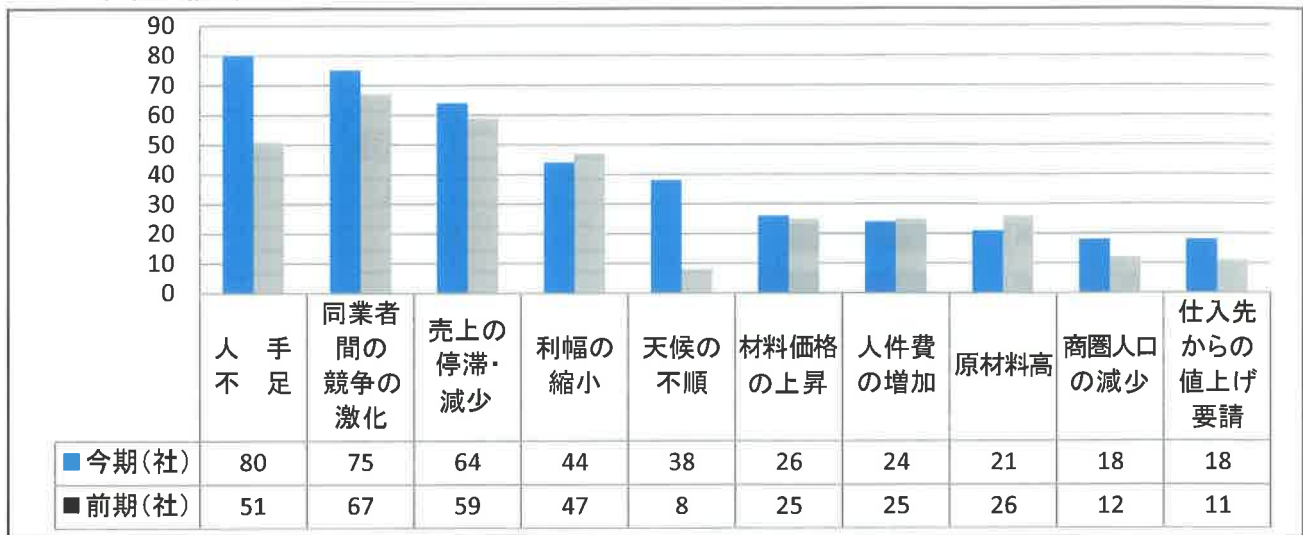
設備投資の実施(26年7月～9月)と予定(26年10月～12月)

● 全業種(除く不動産業:有効回答計227社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

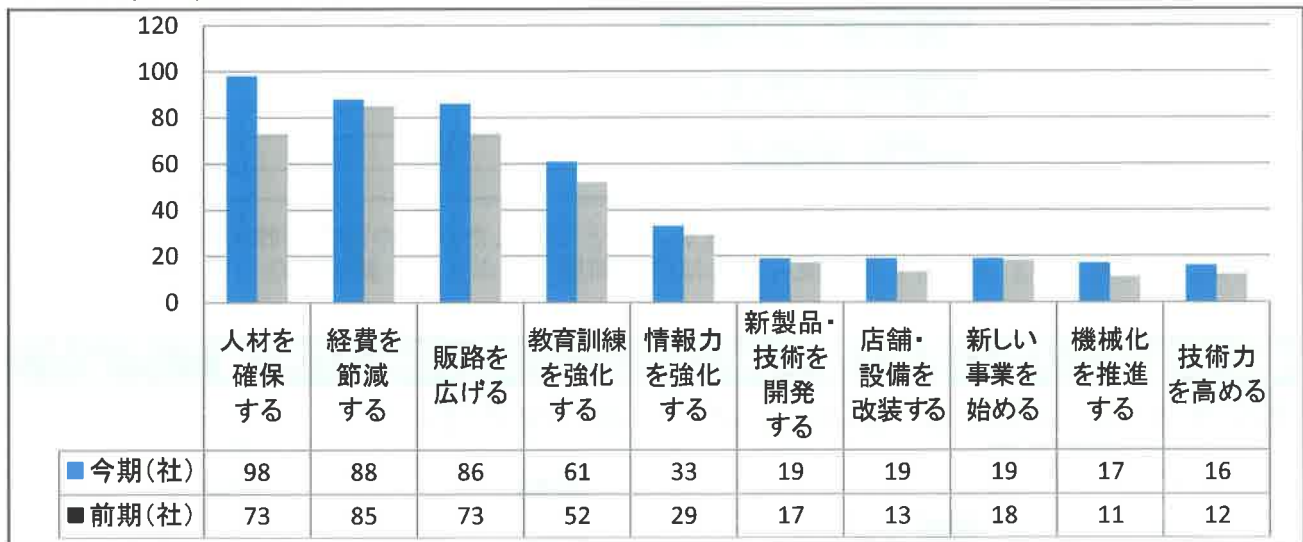
● 全業種(複数回答)



● 前期に比べ「人手不足」と「天候の不順」を回答した企業が多くなっている。

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



■ 調査員の調査コメントから ■

○前期(4～6月期)は、消費増税による影響で売上が低迷したが、今期(7～9月期)も天候不順(日照時間が津山市で平年の37%)による来店客数および作業日数減少の影響、円安の進行・原油価格の高止まりによる仕入価格や経費増加による影響等で、前期同様の景況感と回答した企業が多かった。

○全業種で、専門職から正社員やアルバイトまで人手不足が深刻化しており、求人しても応募もない状況であるとの声が複数あった。

○外国人を労働者として迎え入れようとする動きが一部の企業で見受けられたが、言語の問題や技術習得に時間がかかることがネックとなるとの声が多数あった。

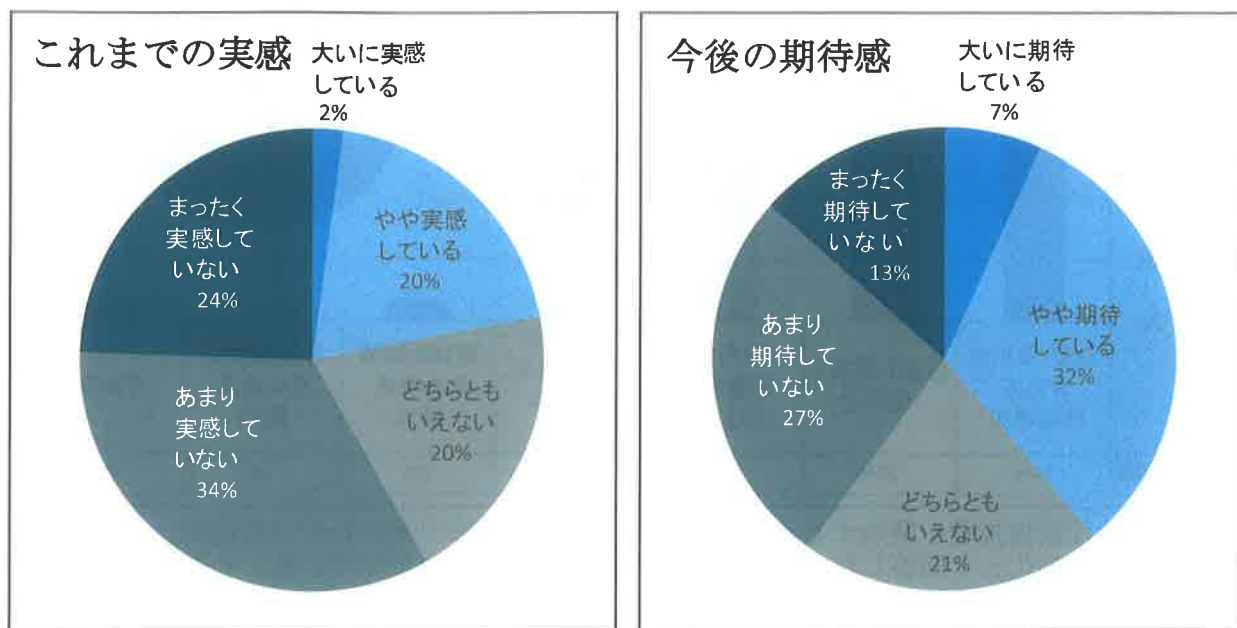
○創業何周年を迎える、売上高何億円を目指すといった節目の目標を定めている経営者からは、新事業を始める・検討しているなどの前向きな声が複数あった。

以上

☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆

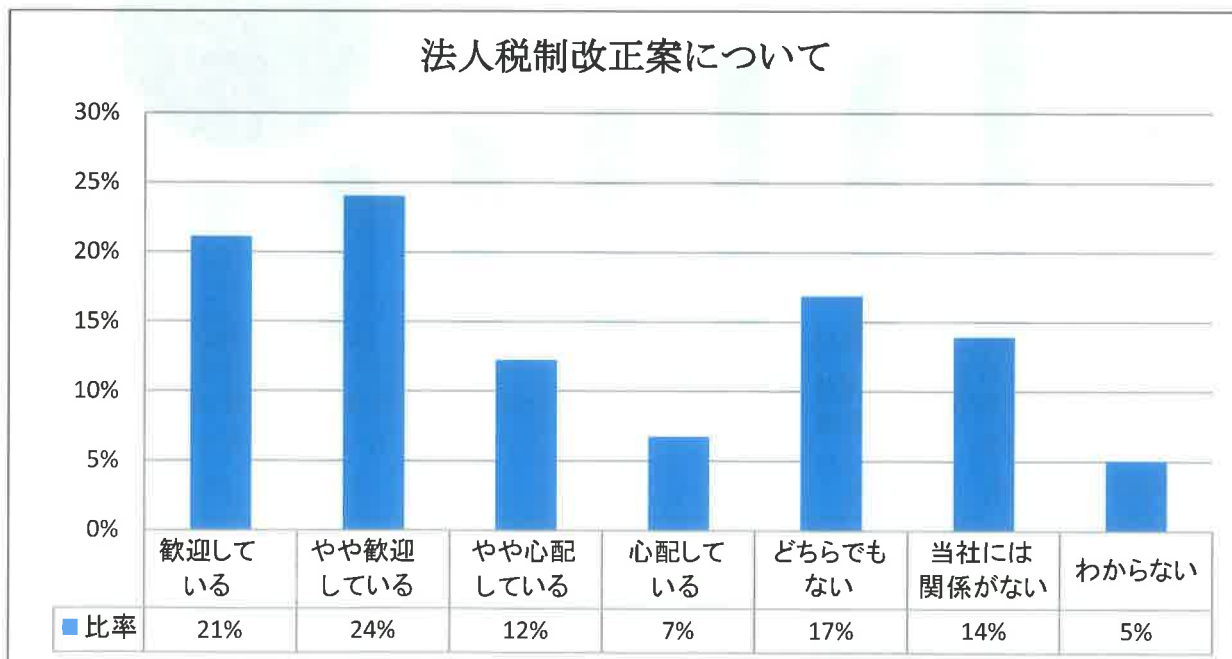
特別調査-「中小企業における『成長戦略』への期待について」

問1. 本年6月に政府が打ち出した新たな『成長戦略』では、いわゆるアベノミクス効果について「日本経済はあらゆる面で上昇局面に向かっている」としています。貴社では、アベノミクス効果をどのように捉えていますか。



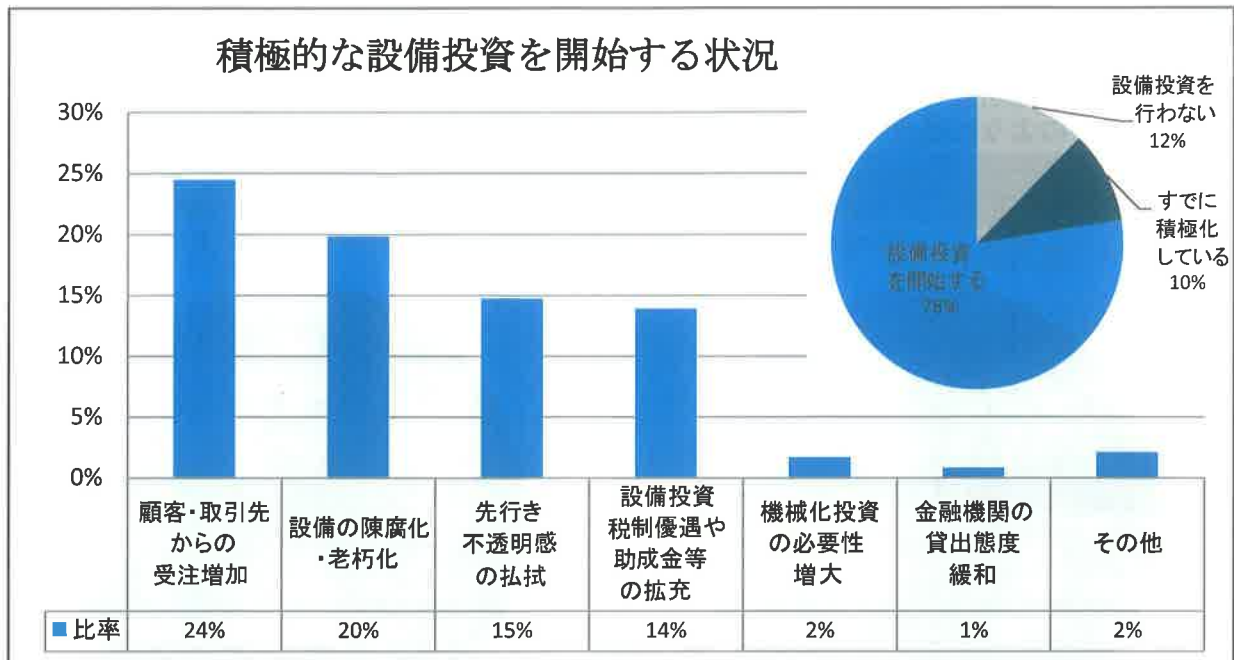
- アベノミクス効果を「大いに実感している」「実感している」と回答した企業は22%であった。「まったく実感していない」「あまり実感していない」は、58%となった。
- 今後の期待感としては「大いに期待している」「期待している」と回答した企業は39%であった。「まったく期待していない」「あまり期待していない」は、40%となった。

問2. 政府が掲げる『成長戦略』では、「法人税率の軽減」と、「代替財源として課税範囲の拡大・見直し」が提唱されています。貴社では法人税制改正案についてどのように捉えていますか。



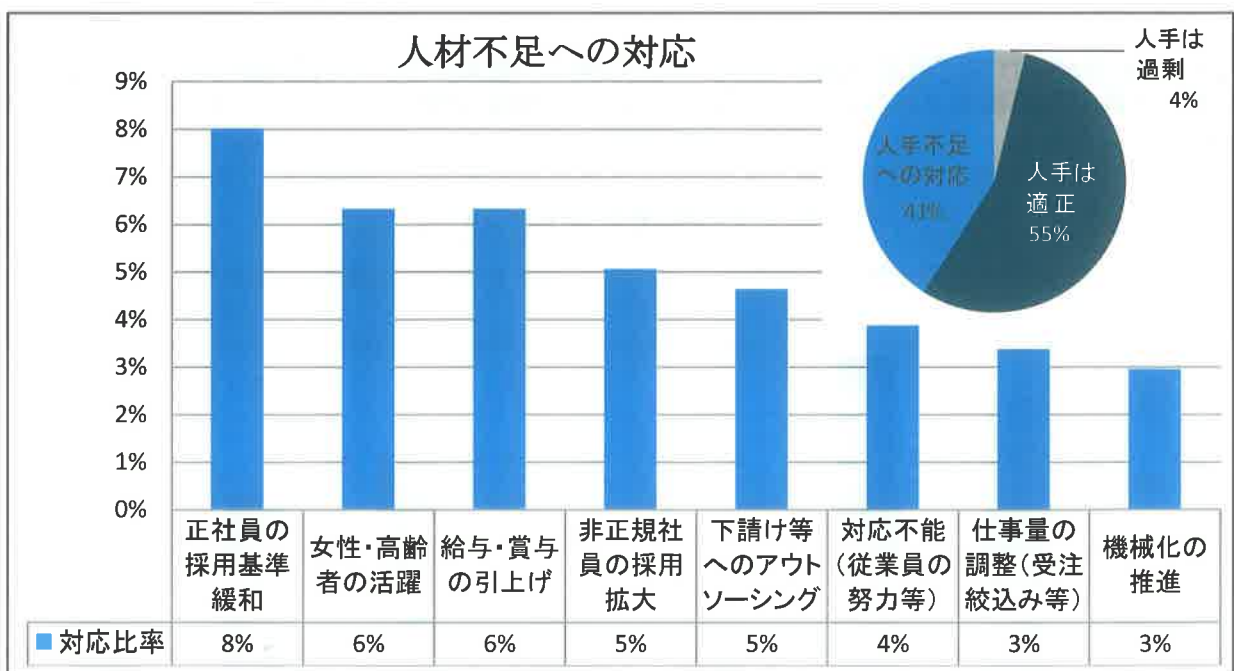
- 「歓迎している」と「やや歓迎している」の合計が45%であった。「やや心配している」と「心配している」の合計は、19%となった。

問3. 政府はこれまで、『成長戦略』の中で企業の設備投資を促しています。こうしたなか、貴社では、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。



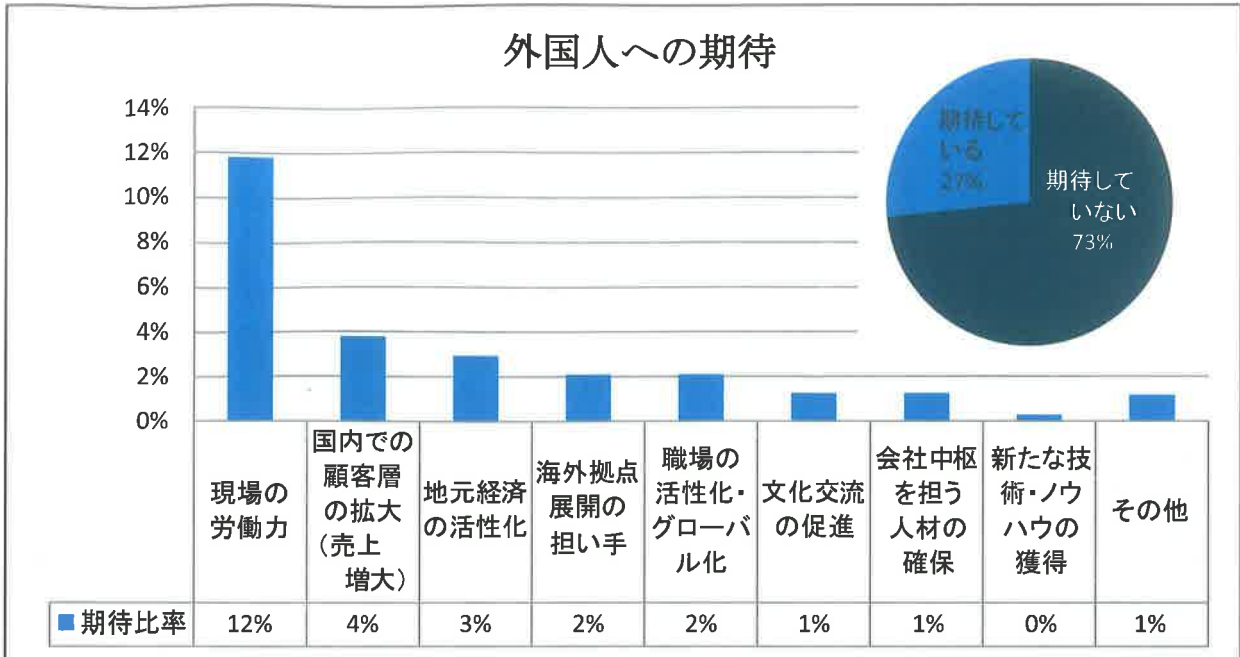
- 積極的な設備投資を開始する状況としては、「顧客・取引先からの受注増加」と「設備の陳腐化・老朽化」と回答した企業が多かった。「すでに積極化している」と回答した企業が10%となっている。
- ものづくり補助金など設備投資のため助成金や補助金を申請している企業が複数あった。

問4. 一部の地域や業種を中心に人手不足が深刻化していますが、貴社における人材の現況はどうなっていますか。人手不足の方は、人手不足にどう対応していますか。



- 「人手は適正」と回答した企業は全体で55%と半数を超えている。建設業(46%)とサービス業(41%)では全業種平均を下回っている。
- 人手不足への対応としては「正社員の採用基準緩和」、「女性・高齢者の活躍」・「給与・賞与の引上げ」の順となっている。

問5. 政府の『成長戦略』では、訪日外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人との関わりを増やすような政策が提唱されています。貴社では、外国人との関わりの増加にどのような期待を持っていますか。

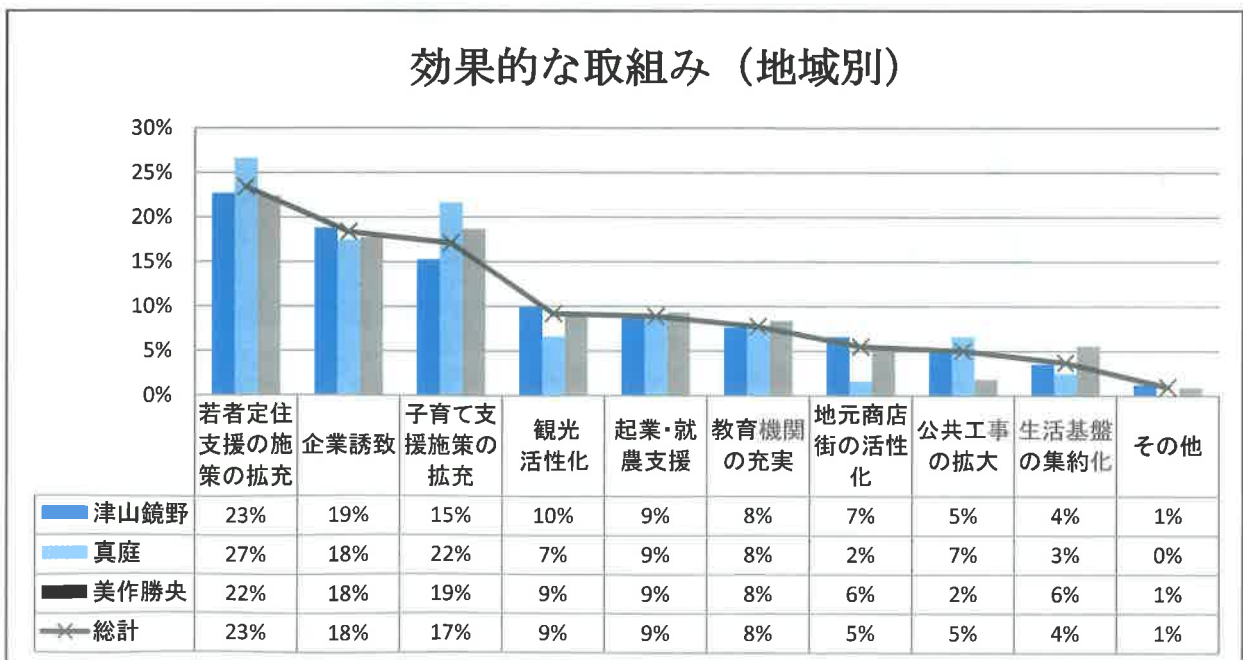


●外国人との関わりの増加は「特に期待していない」との回答が7割を超えた。

☆☆☆ つしん 特別調査 ☆☆☆

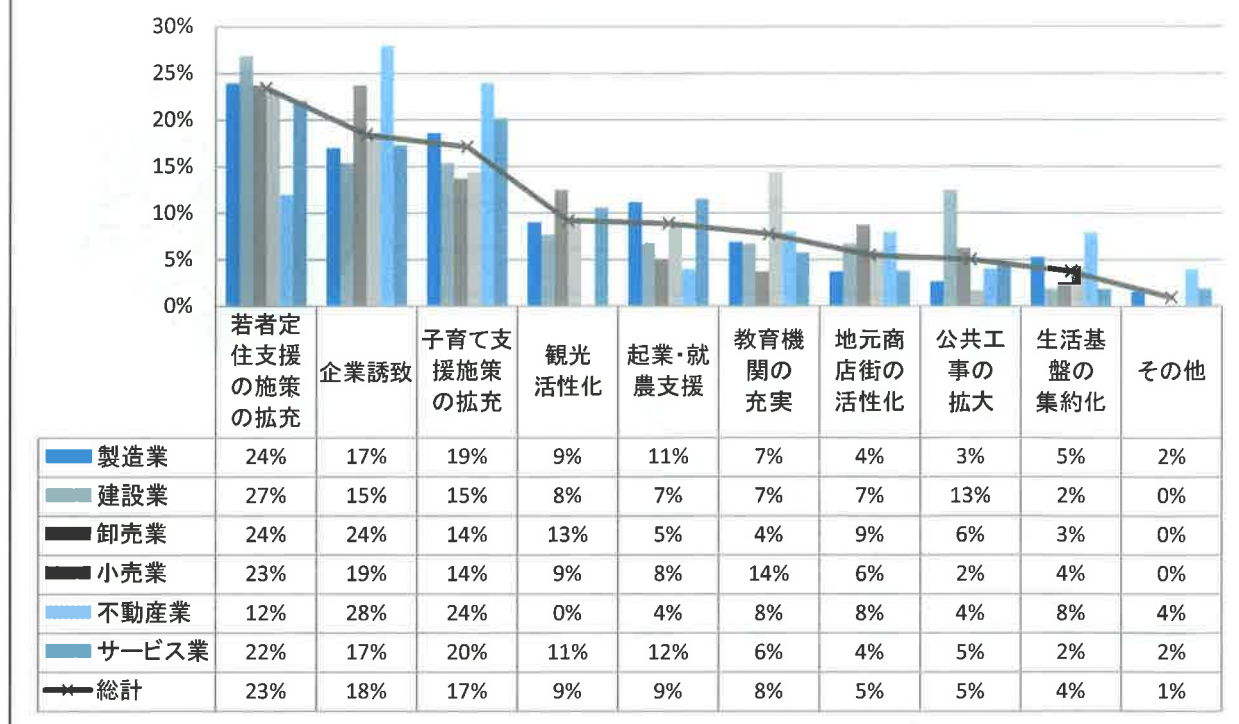
つしん特別調査-地方の活性化に取り組む「地方創生本部」への期待について

問1. 安倍晋三政権が、地方の人口減少対策や経済活性化に本格的に取り組み始め、首相を本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」を本年9月にも創設し、秋の臨時国会に地域支援のための関連法案を提出するとされています。そこで、作州地域の人口減少対策や経済活性化のためには、こういった取組みが最も効果的であると考えますか。



●作州地域全体では、「若者定住支援の施策の拡充」、「企業誘致」、「子育て支援施策の拡充」の順となり、全体の58%となっている。

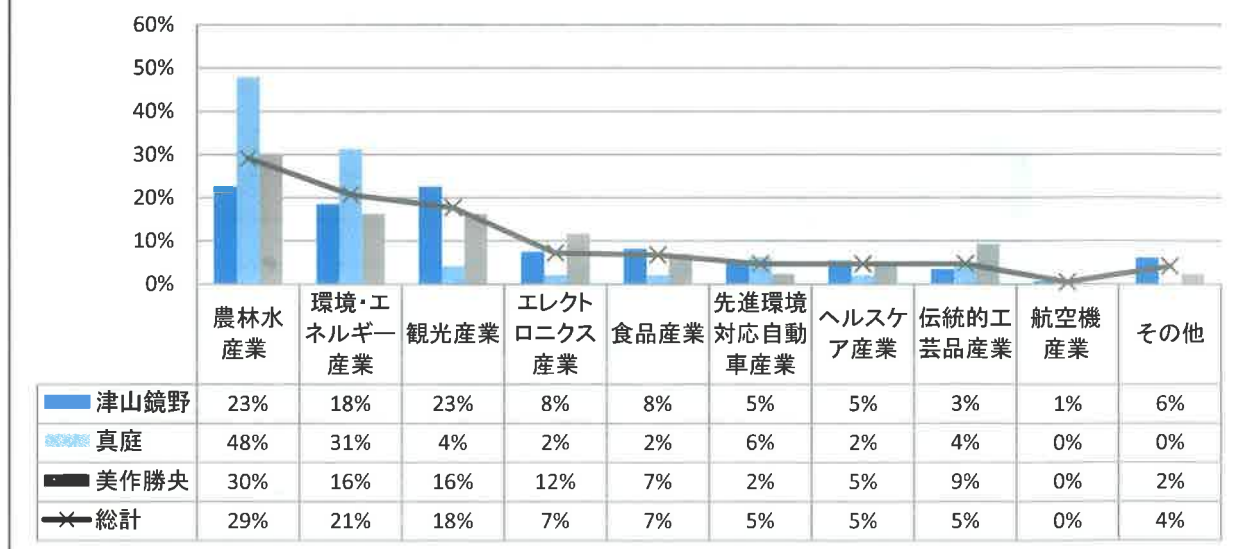
効果的な取組み（業種別）



●業種別の第1位は、製造業、建設業、小売業、サービス業は「若者定住支援の施策の拡充」、卸売業は「若者定住支援の施策の拡充」と「企業誘致」、不動産業は「企業誘致」となった。

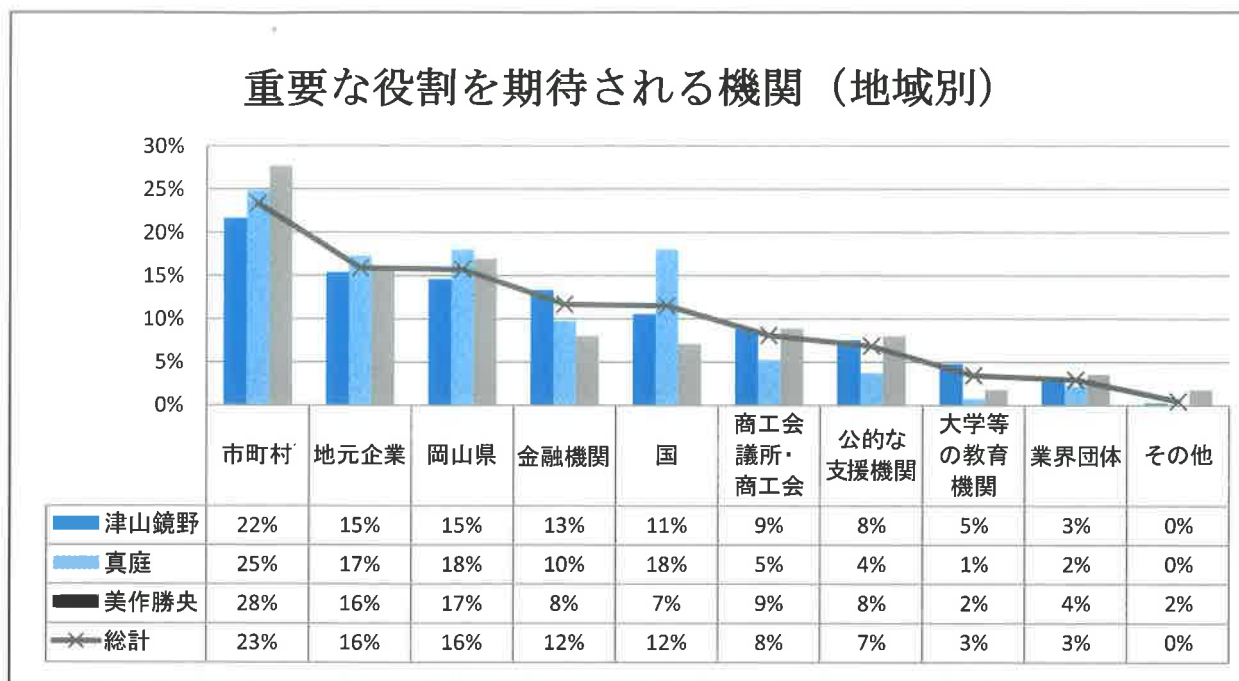
問2. 「地方版成長戦略」においては、地域ごとの戦略産業を特定し、地域に眠る資源の掘り起こし、産業人材の育成に係る戦略を定めており、中国地方では次の戦略産業が定められています。そこで、作州地域では、どの産業を今後成長させるべきだと考えますか。

今後成長させる産業（地域別）



●作州地域全体では、「農林水産業」、「環境・エネルギー産業」、「観光産業」の順となり、全体の68%となっている。真庭地域は、「農林水産業」と「環境・エネルギー産業」の回答が79%となっている。

問3. 作州地域での成長戦略の成功のためには、どの機関の役割が重要になると考えますか。



● 作州地域全体では、「市町村」、「地元企業」、「岡山県」、「金融機関」、「国」の順となり、全体の79%となっている。中でも「市町村」、「岡山県」、「国」の行政に期待する比率が51%となっている。

● 地域別では、津山鏡野地域は、「市町村」、「岡山県」、「国」の行政に期待する比率が48%となっている。
真庭地域は、「市町村」、「岡山県」、「国」の行政に期待する比率が61%となっており、中でも「国」が18%と3地域の中で最も高い比率となっている。
美作勝央地域は、「市町村」、「岡山県」、「国」の行政に期待する比率は52%であり、「国」への期待は7%と3地域の中で最も低い比率となっている。

■ 調査要領 ■ ■ 調査対象 ■

1. 調査対象
当金庫営業エリア内の中小企業
2. 調査時期
2014年8月21日～9月5日
3. 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
D Iを中心に分析
5. 季節変動について

地区別	企業数
津山鏡野地域	146
真庭地域	48
美作勝央地域	43
総計	237

業種別	企業数
製造業	72
建設業	39
卸売業	28
小売業	47
不動産業	10
サービス業	41
総計	237

従業員規模別	企業数	比率
1～4人	37	15.6%
5～9人	59	24.9%
10～19人	50	21.1%
20～29人	31	13.1%
30～39人	18	7.6%
40～49人	13	5.5%
50～99人	11	4.6%
100～199人	13	5.5%
200～300人	5	2.1%
総計	237	100.0%

業況判断D Iは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。

また、掲載資料は正確性・安全性を保障するものではありません。

作州地域の活性化応援信用金庫



っしゅ



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



っしゅ

岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
営業支援部
(担当：杉山、岡部)